

令和6年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 09		学校名	県立友部特別支援学校								学校長名	小沼 博義					
副校長名						教頭名	平田 勝				事務(室)長名	上野 潤子						
教職員数	教諭	60	養護教諭	3	常勤講師	5	非常勤講師	3	実習助手	2	寄宿舎指導員	14	事務職員	3	技術職員等	11	計	104
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数		
	幼稚部																	
	小学部	4	2	5	4	9	2	9	4	11	1	6	3	44	16	14		
	中学部	9	5	7	5	7	5							23	15	8		
	高等部	15	5	9	2	4	9							28	16	8		
	専攻科																	
													計	95	47			

2 目指す学校像

- ◆明るく楽しさみなぎる学校
- ◆力いっぱい活動できる学校
- ◆家庭や地域に開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 不祥事の根絶を目的として、常に意見交換のできる風通しの良い職場環境を目指している。管理職と部主事等は同じ職員室で執務にあたり、常に意見交換のできる関係を築いている。また、部主事は各教員とそれらの情報を共有することで、学校全体で方向性を共有しており、同僚性は高まっていると評価している。 働き方改革については、校務分掌の内容や課題を把握し、効率化等について検討してきた。また、教職員の働き方改革について保護者へも説明をし、理解と協力をお願いした。これにより個別面談時の下校時刻を早くすることで担任の面談日の時間確保することができ、少しの時間ではあるが、超過勤務時間を増やさない対応をしてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務の見直し、改善、工夫等を進めること。 引き続き、保護者への理解や協力を得られるようにしていくこと。 良い授業づくりをするための時間づくりであるという意識を、より高めていくこと。
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善を目的として、校内の研修と計画訪問を組み合わせ、大学教授を招聘して学校全体で取り組んだ。モデルとなる授業者だけでなく、全員が自分の授業に置き換えて改善していく方法で、全員が授業を見直すことができた。 児童生徒対象の授業に関するアンケートを行い、授業が楽しいと半数以上が回答。また、ICTを活用した授業は全ての部で楽しいと回答した割合が高く、一定の成果があったと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 「めあて」「課題」を適切に設定し、児童生徒自身の「まとめ」や「振り返り」を大切にした実践 ICTの効果的な活用と教師間の情報共有、職員研修の実施 自立活動の充実 教員のアイディアを活かした取組み

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 安心・安全・信頼される教育環境と危機管理体制の整備 2 子どもの実態や多様性を理解し、個に応じた自立と社会参加を目指すキャリア教育の推進 3 学校教育環境の変化を的確に捉え、新しい知識や技能を学び続けることによる資質能力や専門性の向上 4 学校と地域が連携・協働の視点を持ち、地域とともにある学校づくりの推進

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
---------	---------

<p>1 一人一人が学ぶ楽しさを実感できる授業づくりの推進</p>	<p>① 「できた」「わかった」「もっとやってみたい」と感じる授業づくり ・ 「めあて」「課題」を適切に設定し、児童生徒自身の「まとめ」や「振り返り」を大切にした実践 ② ICTの効果的な活用と教師間の情報共有、職員研修の実施 ③ 自立活動の充実 ・ 専門家の活用や自立活動シート及びブラッシュアップシートの活用 ④ 各部の主体的な経営 ・ 教員、指導員のアイデアを活かした取組み</p>
<p>2 一人一人の障害の状態に応じた自立と社会参加を目指す教育の推進と地域に開かれた学校づくり</p>	<p>① 卒業後の視点を踏まえた小学部・中学部・高等部の系統性のあるキャリア教育の推進 ② コミュニティースクールの実践 ・ 地域資源や施設等を活用した職業体験学習、体験的な活動をとっての人や社会とつながる授業の充実 ・ 学校間、学校と地域のつながり、互いの学び合いを大切にした交流活動の実施 ・ ともとくマルシェの開催 ③ 全校あいさつ運動 ・ あいさつマイスターの認定 ④ 教員の専門性向上に向けた各種研修の実施と専門性を活かしたセンター的機能の充実</p>
<p>3 自分の体や健康への関心を高め一人一人の体力の向上と心の育成</p>	<p>① 相手の考えを尊重し、人を思いやることのできる豊かな心の育成 ② 専門家や保護者と連携した安全・安心な給食と食育、健康教育の推進 ・ からだが喜ぶ給食 ③ 児童生徒が主体的に取り組む防災安全教育の計画的な実施 ④ 感染症等予防対策の徹底と衛生面の意識向上</p>
<p>4 安全・安心な教育環境の整備と保護者、地域、関係機関との信頼関係の醸成</p>	<p>① 児童生徒が安心して学習や生活ができる教育環境（施設設備等）の整備 ② ヒヤリハット事例の共有、各種マニュアルの見直し・改善による危機管理体制の充実 ③ 服務規律の確保とコンプライアンス意識の更なる向上を目指したボトムアップ型研修の計画的な実施 ④ 児童生徒の手本となり、おもてなしの気持ちと明るくきれいな学校を目指す取組（整理・整頓・清潔・清掃）</p>
<p>5 働き方改革</p>	<p>① 時間の使い方についての意識改革と勤務時間の適正管理 ② 業務改善（校務内容、学校行事の見直し、会議の効率化の推進等）</p>